

京都教育センター06公開研究会 V

フィンランドの教育から学ぶ

—全教視察団の報告を聞く—

来年4月に実施されることになっている「全国一斉学力テスト」問題もあり、今、新たな「学力問題」が国民的な関心を集めています。

この数年間、官民を問わずさまざまな「学力議論」が展開されてきましたが、OECDのPIISA調査で「学力世界一」と認められたフィンランドの教育が注目されています。「学力世界一」の国から学べという短絡的な発想ではなく、我が国の教育事情と比してフィンランドはどう違うのかを検証することは、教育基本法の見直しをはじめ上からの「教育改革」を指向する在り方を批判する上で重要な視点であると考えます。

そうした意味で今夏、全教のフィンランド視察団のメンバーとして参加された山口さんから報告を受け、私たちの立場からの学力問題を実践的に議論する機会になればと企画しました。



京都教育センター06公開研究会第5弾！
あなたの参加をお待ちしています！（参加無料）

◇ **日時** 11月25日（土）

13:00～16:00

◇ **場所** 教育文化センター 101号室

京阪丸太町下車東へ徒歩5分

◇ **講演** 「フィンランドの教育から学ぶこと」

—— 父母とともにとりくむ学力保障実践

山口妙子（東大阪市立英田小学校）

・実践報告 京都教研集会の「学力レポート」から学ぶ

《 山口妙子先生の紹介 》

今夏、全教が実施したフィンランド教育視察団に参加。現任校の英田小（1年目）では家庭科の専科教員として「食育」の実践に意欲的にとりくむ。前任の弥栄小では「父母と取り組んだ学力づくり」の実践で京都南部の教研集会などでも報告。

なお、全教副委員長（教文局長）の山口隆さんはご主人です。

主催 京都教育センター「発達問題研究会」「学力・教育課程研究会」

[TEL&FAX 075-752-1081]